

被災地での活動報告をする環
太平洋大の友成さん(右)と
綱島さん(岡山市東区で)



能登での支援活動

NGOと学生報告

環太平洋大で

能登半島地震で被災した石川県輪島市の輪島中学校で支援活動を行った国際医療NGO「AMDA(アムダ)」(本部・岡山市北区)と環太平洋大学(同市東区)のサッカー部員による報告会が、同大学で行われた。

支援活動は8月6日、AMDAの職員3人とサッカー部の20人が参加して実施。午前中は避難所として使われた教室の清掃や、授業再開に向けた机や椅子の搬入を行い、午後は同中学のサッカー部員との合同練習で交流を深めた。

4日開かれた報告会で、4年の友成翼さん(22)と綱島基起さん(21)が、現地の写真を交えながら活動内容を紹介。グラウンドピアノの運搬が大変だったことや復旧が進んでいない被災地の光景などを振り返った。

友成さんは「街の様子を見て、あまりの状況に声が出なかった」と話し、綱島さんは「西日本豪雨のときは、県外の人も助けてくれた。恩返しができたいと思う」と語った。大橋節子学長は「人のためにすることは、自分の支えにもなる」とたたえた。